

平成31年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第11号(2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和2年1月23日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か多い	ほぼ平年並

○2月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		2月の発生量 (平年比)	1月からの増減	1月の発生量 (平年比)	その他(気象要因など)
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	並	→	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(→)
	② メイチュウ類 (イネヨトウ)	並	→	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(→)
(温州みかん)	① かいよう病	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	② そうか病	並~やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移(↓) 今後1か月の降水量が平年並の見込み
	③ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
(タカンカキ)	① かいよう病	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	② 黒点病	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
	③ そうか病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移(→)
	④ ハダニ類	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移(↗)
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
キャベツ	① 菌核病	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移(↗)
	② コナガ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	③ ウワバ類	並	↓	(発生なし)並	平年の発生量の推移(↓)



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○2月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		2月の発生量 (平年比)	1月からの増減	1月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
レタス	① 軟腐病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② 腐敗病	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	③ 菌核病	並	↘	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↘）
	④ アブラムシ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
かぼちゃ	① モザイク病	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	② うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並～やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	④ ハモグリバエ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	⑤ タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
（ゴーヤー施設）	① モザイク病(スイカ灰白色斑紋ウイルス)	並	↗	(発生なし)並	例年の発生量の推移（↗）
	② うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ アブラムシ類	並～やや多	↘	多	平年の発生量の推移（↘）
（ピーマン施設）	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② アブラムシ類	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
（トマト施設）	① 黄化葉巻病	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘）
	② うどんこ病	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	③ すすかび病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ コナジラミ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	⑤ ハモグリバエ類	並	→	やや多	平年の発生量の推移（→）



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○2月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		2月の発生量 (平年比)	1月からの増減	1月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さ （ や 平 張 ） げ ん	① 菌核病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	② タバココナジラミ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	③ ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（ 彼 岸 小 出 ギ 荷 ク 用 ）	① 黒斑・褐斑病	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↘）
	② アザミウマ類	並～やや多	→	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ アブラムシ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	④ チョウ目幼虫	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
	⑤ ハダニ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さ と う き び	ツマジロクサヨトウ	1月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されている。定植時に散布した粒剤の効果が切れ始める時期でもあるため、農薬散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	出蕾期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。
か ぼ ち ゃ	細菌病	ほ場周辺にソルゴーや防風ネット等による防風垣を設置し、収穫期まで残す。 降雨や強風が続くと急激に広がる場合があるので、風雨前後の予防散布を徹底する。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 宮古群島 病害虫発生予報 第11号(2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和2年1月23日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並が多い	ほぼ平年並

○2月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		2月の発生量 (平年比)	1月からの増減	1月の発生量 (平年比)	その他(気象要因など)
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	並	→	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(→)
	③ メイチュウ類 (イネヨトウ)	並	→	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(→)
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
かぼちゃ (1月植え)	① モザイク病	並	↗	(発生なし)並	媒介虫(アブラムシ類)の発生量が平年並
	② うどんこ病	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	③ アブラムシ類	並	↘	並	有翅虫の平年の発生量の推移(↘)
	④ ハモグリバエ類	並~やや少	↗	(発生なし)やや少	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	⑤ タバコナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
とうがん	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	② ミナミキイロアザミウマ	並~やや多	↗	やや多	平年の葉の発生量の推移(↗)
	③ ハモグリバエ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	④ タバコナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	⑤ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○2月の発生予報つづき (宮古群島)

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		2月の発生量 (平年比)	1月からの増減	1月の発生量 (平年比)	その他(気象要因など)
ゴーヤー (施設)	① うどんこ病	多	↗	多	平年の発病量の推移(↗)
	② 斑点病	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移(↗)
	③ ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の葉の発生量の推移(→)
	④ タバココナジラミ	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移(→)
	⑥ アブラムシ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移(→)

○その他注意すべき病害虫(宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	ツマジロクサヨトウ	1月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されている。定植時に散布した粒剤の効果が切れ始める時期でもあるため、農薬散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	出蕾期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 八重山群島 病害虫発生予報 第11号(2月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和2年1月23日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か多い	ほぼ平年並

○2月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		2月の発生量 (平年比)	1月からの増減	1月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	やや多	↗	やや多	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	② メイチュウ類 (イネヨトウ)	やや多	↗	やや多	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
（ゴーヤー）	① 斑点病	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	② ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ アブラムシ類	並	→	(発生なし)並	平年の発生量の推移（→）
かぼちゃ	① モザイク病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② うどんこ病	並～やや少	↘	やや少	平年の発生量の推移（↘）
	③ 細菌病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ アブラムシ類	並	↗	並	有翅虫の平年の発生量の推移（↗）
	⑤ ハモグリバエ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	⑥ タバココナジラミ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

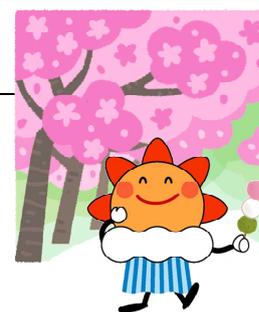
作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	ツマジロクサヨトウ	1月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されている。定植時に散布した粒剤の効果が切れ始める時期でもあるため、農薬散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	出蕾期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。
 ●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
 ●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値
 ※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

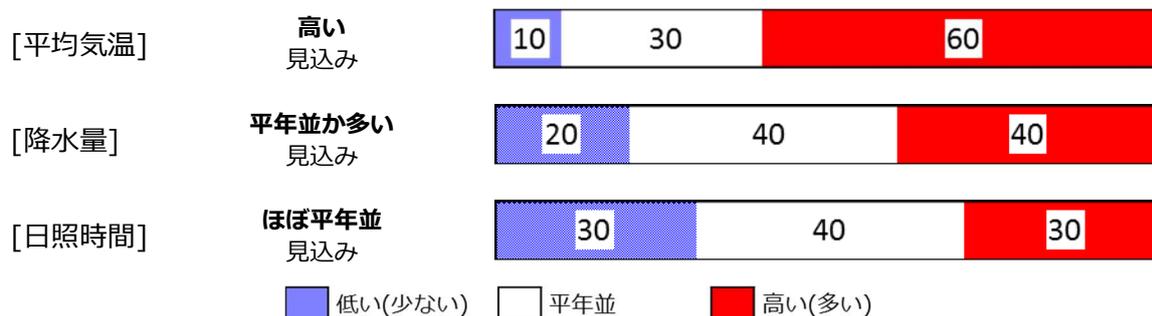
向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（1月25日～2月24日）



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

- 気象予報のポイント
- 向こう1か月の天候は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 寒気が南下しにくいいため、向こう1か月の平均気温は高いでしょう。
- 低気圧や気圧の谷の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

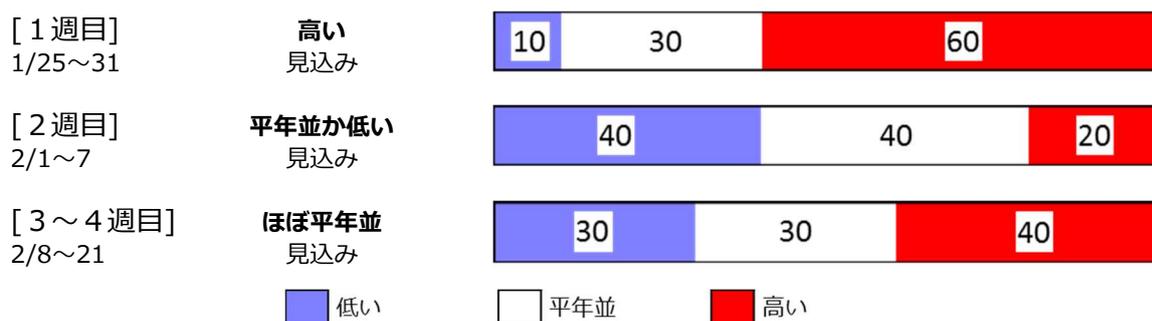


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.3～+0.4℃	平年比：75～107%	平年比：77～109%
那覇	16.5～17.3℃	66.7～123.9mm	67.4～96.3時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.7～+0.5℃	平年差：-0.7～+0.6℃	平年差：-0.4～+0.5℃
那覇	16.0～17.1℃	15.9～17.2℃	16.9～17.8℃

- ※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119
宮古駐在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内) TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内) TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157